

ANDRÁS SCHIFF PIANO RECITAL

©Nadia F. Romanini

アンドラーシュ・シフ ピアノ・リサイタル

2014年
3/16(日) 19:00
サントリーホール

Sunday, March 16, 2014 at 7 p.m.
Suntory Hall

東北に捧げるコンサート

Concert Dedicated to the Tohoku Region

【ベートーヴェン・プログラム】 Beethoven Program

6つのバガテル op.126
6 Bagatelles op.126

ピアノ・ソナタ第32番 八短調 op.111
Piano Sonata No.32 in C minor op.111

ディアベッリの主題による33の変奏曲 八長調 op.120
33 Variations on a theme of Diabelli in C major op.120

※3/16公演は出演者の希望により、出演料の全額を東北復興のために寄付いたします。

2014年
3/19(水) 19:00
東京オペラシティ コンサートホール

Wednesday, March 19, 2014 at 7 p.m.
Tokyo Opera City Concert Hall

【メンデルスゾーン&シューマン】 Mendelssohn & Schumann

メンデルスゾーン: 厳格な変奏曲 二短調 op.54
Mendelssohn: Variations Serieuses op.54

シューマン: ピアノ・ソナタ第1番 嬰へ短調 op.11
Schumann: Piano Sonata No.1 in F-sharp minor op.11

メンデルスゾーン: 幻想曲 op.28
Mendelssohn: Fantasy op.28

シューマン: 交響的練習曲 op.13 (1852年改訂版)
Schumann: Symphonic Etudes op.13

【両日共】 S¥12,000 A¥9,000 B¥6,000
C¥4,000 プラチナ券¥17,000



主催: KAJIMOTO 協力: ユニバーサル ミュージック合同会社

「心のメッセージ」を伝える人、シフ

2014年もまたアンドラーシュ・シフを聴けるというのは、私たちにとって大きな喜びである。

かつて、ひと昔前になるうか、CD録音に関して、シフがシューベルトの作品ばかりを集中的に弾き、一連のシリーズとしていた時期がある。そのとき、雑誌で担当している新譜月評の欄に、「シフは“シューベルト語”を話すピアニストだ」と私は書いた。シューベルトの音楽上の語法を深く読み取り、その成果を、聴きての耳と心に無理なくしっくりと入ってくるものとして鍵盤上に表す^{すべ}術を、彼が身につけている、という意味合いである。ところで、シューベルトを終えると、次にはシューマンを、彼はシリーズを組んで発表し始めた。するとそこには“シューマン語”を話すピアニストが実感された。更にその後、シフが定評高い「ベートーヴェン・ソナタ全曲録音」に入ると、今度は明らかに“ベートーヴェン語”を話す^{すべ}彼がいた。言い替えば、シフは、作曲家それぞれが自分の作品に託した「心のメッセージ」を汲み取り、表現することにおいて、抜群の能力を持った人なのである。このたびのプログラムは3種あり、それぞれベートーヴェン、メンデルスゾーンとシューマン、J.S.バッハとバルトークだが、いずれの作曲家、作品においても、上記のことを私たちが感じ取るのは必定だ。ベートーヴェンでは後期の名作を並べるが、このうち第32番のソナタは、CD全集を締め括る最後のフレーズを聴いたとき、「空間を旅した魂が、天使の翼に抱き取られるよう」と感じたことが忘れられない。このベートーヴェン・プログラムを、今回シフは「東日本大震災の被災者を思って」演奏するとの由。ベートーヴェンの名曲を、心に湧く「祈り」のメッセージと信じての言葉であるに違いない。

濱田 滋郎(音楽評論家)



アンドラーシュ・シフ(ピアノ) ANDRÁS SCHIFF, Piano

1953年ブダペスト生まれ。フランチ・リスト音楽院でカドシャ、クルターク、ラードシュらに学び、さらにロンドンでジョージ・マルコムに師事。J. S. バッハ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ショパン、シューマン、バルトークなどの重要な鍵盤楽曲によるリサイタルや全曲演奏会を行う現代最高のピアニストの一人である。2004年に始めたベートーヴェンのピアノ・ソナタの全曲演奏会は今では20都市にのぼり、チューリヒ・トーンハレでのチクルスはライブ・レコーディングされている。現代を代表する指揮者やオーケストラのほとんどと共演する一方、近年は弾き振りにも積極的で、1999年には自身の室内楽オーケストラ、カペラ・アンドレア・バルカを創設。メンバーには国際的なソリストや室内楽奏者、友人たちが加わっている。また、ヘンレ社と共同で、モーツァルトのエディションに関する重要なプロジェクトに着手。ピアノ協奏曲の原典版のピアノ・パートにシフが加筆した楽譜が刊行されている。ゴールデン・モーツァルト・メダル、ウィグモア・ホール・メダル、シューマン賞、プール・ル・メリット勲章など受賞や叙勲も多い。ベートーヴェン・ハウスやウィーン・コンツェルトハウスの名誉会員でもある。ブダペスト、デトモルト、ミュンヘンの各音楽大学の名誉教授。オックスフォードのバリオル・カレッジ特別研究員。

©Nadia F. Romanini

ECM NEW SERIES

アンドラーシュ・シフ

好評発売中!



ベートーヴェン： ピアノ・ソナタ集 VOL.8

ピアノ・ソナタ第30番 ホ長調 作品109
ピアノ・ソナタ第31番 変イ長調 作品110
ピアノ・ソナタ第32番 八短調 作品111
録音：2007年9月

UCCE-2072 ¥2,800(税込)



精霊の主題による変奏曲 ～シューマン・リサイタル

蝶々 作品2
ピアノ・ソナタ 第1番 嬰へ短調 作品12
子供の情景 作品15 / 幻想曲 八長調 作品17
森の情景 作品82 / 精霊の主題による変奏曲
幻想曲 八長調 作品17～第3楽章最終稿
録音：2010年6月

UCCE-7517/8
2CD ¥5,000 (税込)

最新録音「ベートーヴェン：ディアベッリの主題による33の変奏曲」今秋 ECM NEW SERIES から発売予定!



発売・販売元：ユニバーサル ミュージック <http://www.universal-music.co.jp/classics/>

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00~18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

<http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 3/16 203-415)
3/19 203-414)

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>
CNプレイガイド 0570-08-9990
ローソンチケット 0570-000-407
サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 [3/16]
東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999 [3/19]

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



twitter @kajimoto_News

f <http://www.facebook.com/kajimotomusic>

- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
- 団体料金のある公演もございます。詳しくはお問合せください。